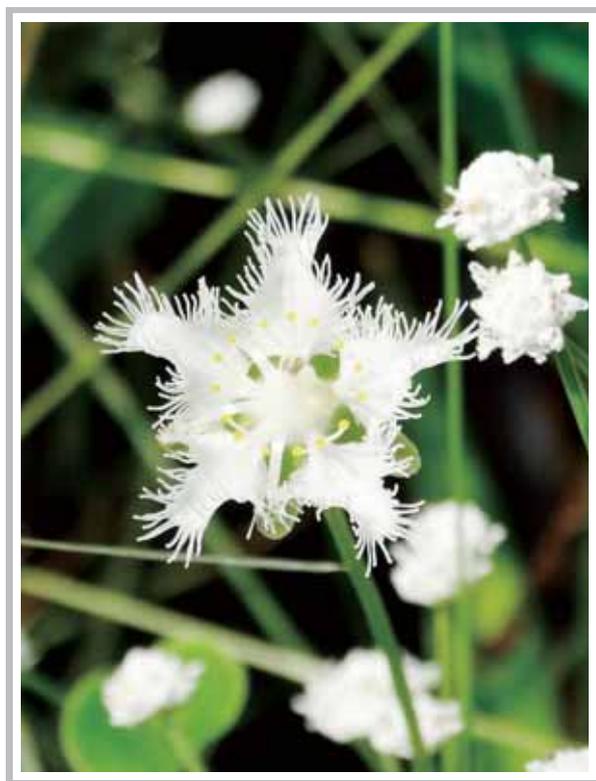


「自然の仕組み」は不思議で合理的

シラヒゲソウは、白い5枚の花弁の縁が細く裂けてひげのように見えるため“白髭草”と名付けられました。シラヒゲソウは、やや湿り気が多いけれど水が地表に流れていないような湿地を好み、高さ15～30cmの茎の先端に直径2～2.5cmほどの白い花を一輪だけ咲かせます。

シラヒゲソウの雄しべには、ある秘密があります。10本ある雄しべのうち5本は本物で、花粉を入れる葯やくがあります。しかし、残り5本は“仮雄しべ”といわれ、先端が3つに分かれ黄色の蜜のような光沢のある玉があります。この蜜のような玉に誘われて寄ってきた虫たちに受粉の手伝いをしてもらいます。また、受粉のときにも特徴があります。虫によって雄しべから花粉が運ばれる頃は、花の中心にある雌しべはまだ成熟しておらず自家受粉できません。雌しべが成熟する頃には雄しべは退化するので、受粉は他の花の花粉との間で行われることとなります。これは、種の存続の危機にもなる自家受粉を避けるためです。

自然の仕組みは、不思議で合理的ですね。私たちも、その仕組みの中で生かされていることを忘れてはいけませんね。



森	の
日	記

楽しい“お泊り”遠足

7月19日(土)



名古屋市の幼稚園児約110人がネイチャーセンターにやって来ました。毎年この時期に訪問してくれる常連さんです。

前日は市内の旅館に宿泊し、朝一番で陶史の森に来たそうです。子どもたちは、とても元気よくあいさつをしてくれて、気持ちのいい一日の始まりでした。

雨が降っても…

7月27日(日)

暑い日でしたが、正午ごろから雨が落ち始めました。でも、子どもたちは川遊びに夢中。大人たちも「かえって涼しくなったね」とバーベキューを楽しんでいました。



バーベキュー場は事前予約が必要です。大型連休や夏休み中の土・日曜日などは、1カ月以上前から予約で満席です。ご予約はお早めに！

教室のご案内

9月

草木染め教室 (要申込・定員20人)

9月21日(日) 午前9時～11時30分

草や木を煮出して白い布を染めます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

9月28日(日) 午前9時～11時30分

初秋の野鳥を観察します。

※恒例の「陶史の森まつり」は、9月6日(土)に行います(雨天順延)。今年は市制60周年を記念して、例年より盛大に開催します。

10月

秋の天体教室 (要申込・定員20人、雨天中止)

10月4日(土) 午後6時15分～7時30分

月のクレーターなどを観察します。

きのこ観察会 (要申込・定員20人)

10月19日(日) 午前9時～11時30分

陶史の森に生えるキノコを観察し、名前を教わります。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

10月26日(日) 午前9時～11時30分

秋の野鳥を観察します。

